

親子聖書日課

NO.1453 2016.7/31-8/6 名前

[日]ダニエルは4頭の獣に示された帝国の交代を幻で見ました。バビロン・ペルシア・ギリシア・ローマ。国の指導者は自分を神とし、信仰者を迫害しますが、「日の老いたる者」永遠の主が裁きの座に着き、信仰者はみ国で、永遠に勝利します。

[月]終わりの時に関する幻を毎日見せられたダニエルは、疲れはてました。それ程、預言者の働きは疲れが溜り易いのです。しかし、彼は「起きて宮廷の務めに戻った」のです。どんな犠牲もいとわず、福音を語る牧師のために、祈りましょう。

[火]ダニエルは聖書を読んだ時、罪を示され、悔い改めの祈りを捧げました。決して自分の罪をごまかさず、み言葉を聞き流しません。だからこそ、彼の祈りは聞かれました。「憐れみと赦しは神のもの」ですから、積極的に悔い改めましょう。

[水]主のみ前で悔い改めた時から、私達の祈りは全て聞かれています。祈っても聞かれないと疑ってはいけません。主は私達を愛して、み言葉の約束を下さいましたから、信じて祈り続けましょう。み旨ならば、祈りは必ず実現します。

[木]ダニエルに示された主からの幻は、実現します。しばらくペルシア時代が続き、その後、ギリシアのアレキサンダー大王の世界制覇の時代が来ます。それは戦いにつぐ戦い、ほしいままの悪行の世界ですが、全ては神に見通されています。

[金]どんな力をもった王でも「彼の終わりの時が来て、助ける者はない」のです。アッシリアはバビロンに、そのバビロンもペルシアに、ペルシアもやがてローマに滅ぼされます。神の預言を疎かにしてはいけません。歴史を導く主を敬いましょう。

[土]終末に向かって、どう生きたらよいか、考えることが大切です。「かつてなかったほどの苦難が」続くからです。主を待ち望んで耐え忍ぶ者は救われ、「とこしえの星と輝く」者になります。主を信頼し、御手に委ねて、常に忠実に歩むことです。



	聖書	問題	答え
日	ダニエル 7:1-28	やがてどんな者が進み出て、裁きを行いましたか。	
月	8:1-27	ダニエルはその後、起きて何に戻りましたか。	
火	9:1-27	私は主なる神に祈り、罪をどうしましたか。	
水	10:1-11:1	ダニエルは三週間にわたる何をしましたか。	
木	11:2-20	勇敢な王が起こり、大いに支配し、どのように行動しましたか。	
金	11:21-45	ついに彼の終わりの時が来るが、どんな者はいませんか。	
土	12:1-13	逆らう者はだれも悟らないが、どんな人々は悟りますか。	
感想と祈りの課題			

